

<福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(3月14日 午前0時現在)

前回お知らせ内容と同じ

平成23年3月14日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しております。

1号機（停止中）

- ・原子炉は停止しておりますが、平成23年3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生したことから、現在、調査中です。
- ・海水や中性子を吸収するホウ酸を原子炉に注入しています。

2号機（停止中）

- ・原子炉は停止し、原子炉隔離時冷却系で原子炉に注水しております。原子炉水位は通常より低いものの安定しております。なお、国の指示により、安全を十分確認した上で、原子炉格納容器内の圧力を降下させる措置を講じることとしました。

3号機（停止中）

- ・原子炉は停止しておりますが、高圧注水系が自動停止し、原子炉への注水ができなくなっていたことから、国の指示により、安全を十分確認した上で、原子炉格納容器内の圧力を降下させる措置を実施しました。なお、格納容器内の圧力を低下させるための格納容器内スプレイは中止しました。
- ・その後、逃し安全弁を手動で開き、原子炉の圧力を下げ、速やかに中性子を吸収するホウ酸水を原子炉に注入しました。

4号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

5号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

6号機（定期検査で停止中）

- ・原子炉は停止しており、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏洩はないと考えております。

負傷者等

- ・地震発生当初、発電所構内において協力企業作業員2名が負傷が発生し、病院に搬送
- ・当社社員1名が左胸を押さえて立てない状態であったため、救急車にて病院に搬送
- ・免震重要棟近傍にいた協力企業作業員1名の意識がないため、救急車で病院へ搬送
- ・原子炉建屋内で作業していた当社社員1名の線量が100mSvを超過し、病院へ搬送
- ・当社社員2名が1、2号機中央制御室での全面マスク着用作業中に不調を訴え、福島第二原子力発電所の産業医が受診することになり、福島第二原子力発電所へ搬送
- ・1号機付近で大きな音があり白煙が発生した際に4名が負傷し、病院へ搬送
- ・当社社員2名が現場において、所在不明

その他

- ・現在、1号機の使用済燃料プールに冷却水を確保することについて、関係各所と調整を進めております。
- ・モニタリングカーによる発電所構内（屋外）の放射性物質（ヨウ素等）の測定値が通常値より上昇しています。また、モニタリングポストの測定値も通常値より上昇しています。引き続き、排気筒や放水口等からの放射性物質の放出の可能性について詳細に監視してまいります。なお、放射性物質放出の恐れがあるため、半径20km以内の地域住民に対して国から避難指示が出されています。
- ・安全の確保に向け全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります

以上

（お問い合わせ先）

福島第一原子力発電所
広報部
TEL 0240-32-2101（代）

※本資料については、当時公表したものの、ホームページへ掲載していなかったことがわかったため、
本日（H24.7.18）掲載いたしました。